



米や缶詰、菓子などさまざまな食品を利用者のニーズに合わせて配布しています。

フードバンクまえばしでは、平成29年度は354世帯、昨年度は461世帯に支援を行いました。支援を必要とする世帯は年々増加。そのため、多くの食品が必要となり、食品の確保が課題となっています。



など、さまざまな方法でフードバンクをPRしています。

そこで、イベントを通じた寄付啓発活動などを行い、フードバンク事業の推進に取り組んでいます。例えば、ザスパクサツ群馬の試合会場にブースを設け、食品の寄付を募るフードドライブ運動を実施。寄付してくれた人に、オリジナルグッズをプレゼントする

### 寄付を受け付けている食品

- 主食になるもの(米・乾麺・小麦粉など)
- インスタント食品(ラーメンなど)
- 飲料(ジュース・コーヒーなど)
- 乾物(のり・わかめなど)
- 食用油(オリーブ油・ごま油・サラダ油など)
- 保存食品(缶詰・瓶詰など)
- レトルト食品(カレー・スープなど)
- ギフトバック(お歳暮・お中元など)
- 調味料各種(しょうゆ・砂糖・塩など)

### 注意事項

- 1 賞味期限記載のもの(1カ月以上あるもの)
- 2 常温保存可能なもの
- 3 未開封のもの
- 4 破損していないもの
- 5 米は2年以内のもの

また、フードバンクまえばしでは個人への食糧支援にとどまらず、各地域の団体が開催するイベントにも食糧を提供しています。夏休みには小学生を対象としたキッズカフェにも提供し、子どもの居場所づくりに貢献。多くの子どもたちが訪れました。この活動は一人親世帯が増加している中で、孤食を防ぐきっかけになってほしいという思いも込められています。フードバンクの活動で地域の人々や企業、さまざまな団体が結びつき、助け合い、地域全体へ支援の輪が広がっています。

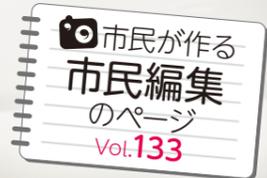
食品の寄付は、フードバンクまえばしの他、前橋中央郵便局と前橋東郵便局、大胡郵便局、大渡温水プール、総合運動公園でも受け付けています。余った食品や贈答品などを提供するという小さな協力で困っている人の力になることができます。家庭に余った食品があれば、ぜひフードバンクまえばしへ協力をお願いします。

# その思い フードバンクまえばしへ

フードバンク。聞いたことはあるけれど、実際どんな活動をしているの?と疑問を抱く人も多いのではないのでしょうか。そこで、今回は前橋市のフードバンク事業を紹介します。

担当 千葉友理香、安済茜、吉田綾野

☎ 社会福祉課 ☎027-898-5845



フードバンクまえばし  
ホームページはこちら

### 編集後記

家庭で余っている食品があれば寄付をして、少しでも役に立てればと思います。



安済

食品ロス問題や食糧支援にとどまらず地域社会の発展にも貢献していると感じました。



吉田

あまりお菓子を食えることができない子どもにもお菓子をあげられる、素敵な活動だと思いました。



千葉

ワカモノ記者 SNSも見てください!

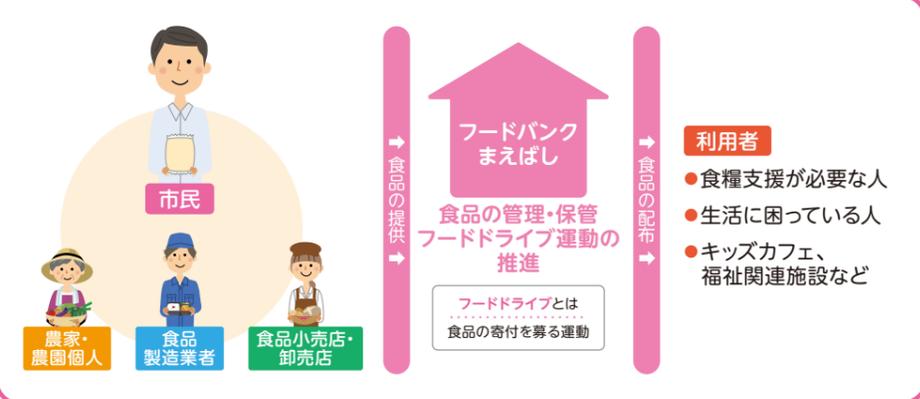


Instagram



フェイスブック

### フードバンクのイメージ図



前橋市では、平成29年からフードバンク事業を開始しています。まだ食べられるにもかかわらず処分されてしまう食品などを個人や企業から寄付してもらい、さまざまな事情により食糧を必要とする生活困窮者へ配布しています。